鳥海山(新山 2236m)　平成２１年５月５日(火)

メンバー：H.M　J.M　A.T　R.T　I.O、K.O(記)　天候：晴れ

コースタイム：登山道入口　5:40～御浜小屋(7:45-8:10)～トラバース(9:05-9:30)～新山頂上(11:35-12:10)～駐車場 14;05

概　要：鳥海山は活火山であり、二重式火山が複合しているため、中央火口丘と外輪山とがある。そして、別名、出羽富士と呼ばれているように、庄内平野から見る鳥海山の姿は大変美しい。雪のないときを知らないが、今の残雪期が最も素晴らしいのではないだろうか。日本百名山および日本百景の一つとなっている。複雑な地形を形成し、外輪山を含めいくつかのピークを持っているが、最高峰は新山2236mである。私たちは、今回、新山からの滑降を目指した。

5月4日酒田から鳥海ブルーラインに入り、国民宿舎大平山荘にて車中泊。駐車場から見た庄内平野に沈む夕日も素晴らしかった。夜は車3台が集合、それぞれ買い揃えた海産物などで宴会となる。

翌5日は5時過ぎに駐車場を出発、吹浦口の登山道入り口の駐車スペースに車を止める。ここから、御浜小屋まで、シール登高。今日は日本海を背に絶好の山スキー日和となった。Takさんは先に帰ったが、M 夫妻、T 夫妻と私たち6名のパーティは至極順調に進んだ。歩きながら、どこから何度見ても、日本海と庄内平野の眺望は素晴らしいものがあった。

御浜小屋で大休止。ここから 1759mのピークを左から巻き、1692mの鞍部に下る。その後雪が切れがちであるが、板を付けたまま夏道に沿って登り、千蛇谷に向けてのトラバース地点に達する。ここから先は、かなり急峻な斜面であるため、板を外し登山アイゼンを着用して、慎重にトラバースする。

千蛇谿に入るとすっきりとした大雪面が広がっており、新山に向けて高登。外輪山と新山との鞍部まで詰め、ようやく新山に到着した。出発から6時間の行程であった。外輪山の七高山頂上には沢山の登山者の姿が見られた。外輪山から新山を往復する人もいた。頂上から北面の眺めが素晴らしい。

下降は、各自が思い思いのシュプールを描きながら、登りの苦労も忘れ、駐車場まで大滑降を思う存分に楽しんだ。雄大な鳥海山の贅沢な山スキーに感謝。さらに一緒したスキー仲間に感謝。

なお、4日に立ち寄った酒田市のことなどを、個人ブログに書いているので読んで下さい。

ホームページの写真集にも多くの写真を掲載しています。　http://plaza.rakuten.co.jp/allmountain/

御浜小屋へ向けて

御浜小屋から上部

御浜小屋から上部

急斜面のトラバース

千蛇谷に入る

千蛇谷を登る

千蛇谷を登る

新山頂上から